



⑥ スノーシューハイキング

概要	スノーシューを装着して積雪のフィールドをハイキングします。森の中で動物の足跡をたどるなど、自然観察を兼ねたハイキングを楽しむことができます。『であいの小径コース』『わくわく広場コース』の2つのコースがあります。			
ねらい	・体力の向上を図ることができます。 ・冬ならではの自然に触れ合うことができます。			
条件	対象	小学生以上	人数	制限はないが、40名につき1人の引率者が必要
	時期	12月～3月（積雪時）	実施の判断	雨天や強風時は中止
貸出物品 ・準備物	自然の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	☐ 無線機 ☐ トランシーバー ☐ スノーシュー ☐ ストック		☐ 救急セット	☐ スキーウェア ☐ グローブ ☐ ゴーグル ☐ 帽子
引率者の役割	・自然の家の職員から説明を受けてスノーシューを受け取り、活動場所に移動させる。 ・活動の前後に点呼を行う。 ・活動終了後にスノーシューを返し、終了したことを事務室へ報告する。			
自然の家職員の役割	・物品の貸出を行う。 ・セーフティークを行う。			
活動の流れ （3時間）	【準備】 ・研修指導員を派遣する場合は、「編集指導員派遣依頼書」を提出してください。 ・実地踏査をして、コース（であいの小径コース、わくわく広場コース）、所要時間、危険箇所、疲労度等を確認してください。 ・団体引率者間での役割分担や参加者への事前指導の徹底をします。 【活動】 ・スノーシューの装着方法と返却方法を確認します。 ・歩き方と活動中の安全管理上の注意事項を確認します。 ・活動を開始します。 【実施後】 ・スノーシューの雪を落とします。 ・スノーシューを専用のフックに戻します。			
安全管理 留意事項	・スノーシューは体重別に合ったサイズを選んでください。 ・歩行中にスノーシューの留め金が外れないように調整し、しっかりと固定してください。 ・単独ではなく、必ずグループ単位で行動してください。 ・活動の際は、緊急連絡用に必ず事務室で貸与された無線機を携帯してください。いつでも連絡が取れるよう、無線機はカバンの中に仕舞わず肩から掛けて使用してください。			